

日本海学 シンポジウム

「いのち輝く未来を考える」

— 豊饒の海・富山湾から —

平成28年 2月20日(土)
13:30～16:30

入場無料

北日本新聞ホール
(富山市安住町2-14)

基調講演 「森が育む魚たち」

講師：山下 洋 (京都大学フィールド科学教育研究センター 副センター長)

パネルディスカッション 「森里海の循環と共生 —富山湾から考える—」

コーディネーター：秋道 智彌 (総合地球環境学研究所 名誉教授)

パネリスト：山下 洋 (京都大学フィールド科学教育研究センター 副センター長)

三木 奈都子 (独立行政法人水産大学校水産流通経営学科 教授)

小境 卓治 (氷見市立博物館 館長)

2014年10月、富山湾の「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が承認されました。

「世界で最も美しい湾クラブ」とは…

ユネスコが支援する非政府組織(NGO)で、世界遺産のフランス・モンサンミッシェル湾、ベトナム・ハロン湾のほか、アメリカ・サンフランシスコ湾など、世界の選ばれた38湾(24カ国・1地域)が加盟し、湾を活用した観光振興と資源の保全を目的に活動しています。(1997年設立)



日本海学 シンポジウム

「いのち輝く未来を考える」

— 豊饒の海・富山湾から —

平成28年 **2月20日** 土
13:30 ~ 16:30

入場無料

北日本新聞ホール
(富山市安住町2-14)



※なるべく公共交通機関をご利用ください。
※富山駅より徒歩10分、または市内電車「県庁前」電停より徒歩1分

お問い合わせ・お申し込み

氏名、住所、郵便番号、電話番号を明示のうえ、ハガキ、電話、FAX
またはE-mailで下記へお申し込みください。

日本海学推進機構

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 (富山県地方創生推進室内)
TEL 076-444-3339 / FAX 076-444-8694
E-mail adm@nihonkaigaku.org

日本海学とは

日本海とその周辺および関係地域全体を、生命の源である海を共有する一つのまとまりとしてとらえ、海との関わりを軸にその自然・文化・歴史・経済などを総合的に研究し、新たな領域を創成するとともに、地域間の交流を促進し生命の輝きが増す未来を構想する取り組みです。

ホームページ▶ <http://www.nihonkaigaku.org/>

基調講演 13:40 ~ 14:30

森が育む魚たち

講師: **山下 洋** (京都大学フィールド科学教育研究センター 副センター長)

1954年、鹿児島県生まれ。東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。東京大学海洋研究所助手。水産庁東北区水産研究所主任研究官・沿岸資源研究室長。京都大学大学院農学研究科水産実験所助教授。京都大学フィールド科学教育研究センター教授を経て現職。専門は水産資源生態学、森里海連環学。ヒラメ、カレイ類など沿岸魚介類を主たる研究対象種とする。『森里海連環学—森から海までの統合的管理を目指して—』監修 (京都大学学術出版会)。



パネルディスカッション 14:50 ~ 16:30

森里海の循環と共生 —富山湾から考える—

コーディネーター: **秋道智彌** (総合地球環境学研究所 名誉教授)

1946年、京都府生まれ。東京大学大学院理学系研究科人類学専攻博士課程修了。国立民族学博物館民族文化研究部長、総合地球環境学研究所教授、副所長、研究推進戦略センター長を経て現職。現在、日本海学推進機構会長。専門は、生態人類学、海洋民族学。地域に根ざした自然と文化の問題から地球規模の環境問題まで、多角的な視点から自然と人間のかかわりについて調査・研究している。



パネリスト: **山下 洋** (京都大学フィールド科学教育研究センター 副センター長)

パネリスト: **三木奈都子** (独立行政法人水産大学校水産流通経営学科 教授)

静岡県生まれ。全漁連勤務、北海道大学大学院、独立行政法人水産大学校水産流通経営学科准教授を経て現職。下関市在住。専攻は水産経済学。水産業・漁村・漁家における女性の役割、国産水産物を活用できる水産物流通、魚食などの研究に取り組む。2003年から漁村女性の起業活動を支援するうみ・ひと・くらしフォーラムのメンバーとして、毎年シンポジウム等を企画・開催。



パネリスト: **小境卓治** (氷見市立博物館 館長)

1951年、富山県生まれ。立命館大学産業社会学部卒業。氷見市教育委員会学芸員、氷見市立博物館学芸員を経て現職。専門は民俗学。越中と能登をフィールドとして定置網の歴史や漁業習俗のほか、漁村の祭礼と年中行事に関する調査と研究に従事する。2015年、博物館開設準備段階から収集と整理に携わった「氷見および周辺地域の漁撈用具」が国登録有形民俗文化財の指定を受ける。



日本海学シンポジウム 参加申込書 (FAX、郵便でお申し込みの場合にご利用ください。)

FAX 076-444-8694

ふりがな 氏名	代表者 住所
ふりがな 氏名	
ふりがな 氏名	電話

※ 聴講券は配布いたしませんので、申し込まれた方は当日直接会場にお越しください。